

# 新年のごあいさつ



『Well-being(心身と社会が健康で幸福な状態が継続する)なまちづくり』の推進を目指して  
地域をリードする、一歩先行く先進のまちに

大河原町長 齋 清志

明けましておめでとうございます。

コロナ禍による日常生活の制約もほぼなくなり、ご家族お揃いで和やかな新年をお迎えのことと存じます。また、日頃の町政への温かいご理解とご協力に対し心より感謝申し上げます。

さて、今年『ひと・まち・桜が咲きほころび先のまち』を将来像とした、長期総合計画の見直しによる後期基本計画(令和6～11年度)の初年度を迎えます。計画作成当初にはなかったコロナ禍やウクライナ紛争、原油・物価高騰による暮らしへの影響、激甚・頻発化する自然災害の発生など、社会・経済環境や住民生活にとっては極めて厳しい現実であったと受け止めています。また、一人ひとりの価値観に基づいた多様な生き方を尊重し、包摂やつながり合うことを最大の教訓として、格差や偏見のない『地域共生社会』の実現を一層意識することとなりました。

一方、地方自治の現状に目を向ければ、本町を取り巻く恵まれた状況とは異なり、少子高齢化と同時に進む人口減少に拍車がかかり、合

せて子どもや働き手(生産年齢人口)、さらには税収までも大幅に減少する現実にも晒されています。そして、財政基盤ばかりではない自治体間の格差拡大が、連携による課題解決を益々困難にする要因となっています。また、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みや、経済のグローバル化・自治体DXの推進などへの対応でも格差が一層広がり、重大な行政課題となることにつながっています。

このような現状を踏まえ、これらの課題解決のために本町の持つ拠点性・利便性・先進性を広域的に活かすことが強く求められているものと受け止めているところです。例を挙げると、県とのコラボ事業としてはじまった『白石川右岸河川敷等整備事業』が、『おおがわら千本桜スポーツパーク』の完成により、『スポーツを活用したまちづくり』のロケーションとして広く注目を集める一大プロジェクトとなりました。

このことは、『Well-beingなまちづくり』を今後実践していこうとする段階で『スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰』と肌で感じる機会が多く、お世話役のスタッフの方々、先生、役場職員の皆様には特段の感謝を申し上げます。

議会としましては、昨年も11月に議会報告会を町内3会場で開催させていただきましたが、例年になく厳しいご意見が町民の皆様から寄せられました。

明けましておめでとうございます。  
町民の皆様には輝かしい令和6年の新春を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

また、日頃より大河原町議会に對しまして深くご理解を賜っておりますことに議会を代表し感謝申し上げます。

まず初めに、令和5年5月以降コロナ感染症が2類から5類に移行され行動制限が大幅に緩和されました。

生活様式全般に変化がみられ、感染対策における行動は自己責任ということになりました。学校生活でも児童生徒の多くはマスクを着用しておりますが、運動会や中体連など大きな大会行事も通常通り開催されることとなり、町においても桜まつりや夏まつり、各表彰式や消防演習等の行事が再開されたことは明るい話題になったと思います。

しかし、4年というブランクは予想以上に様々な競技や行事における準備、運営等に携わる方々には大きな壁となりご苦労が多かった

を逸早く受賞することができた評価の所以と  
なつたものです。

現在は、堤内地(田んぼ側)への賑わい交流拠点施設整備のため国から補助を受けた『官民連携手法導入可能性調査』を実施しており、引き続き国・県の協力をいただきながら目指す方向をしっかりと説明してまいります。さらに、桜の新たな活用やリバースポーツの可能性についても具体的に検討を始めます。本町が担う広域的なつながり役割を果たしながら、先進的な官民協働の実践に邁進する所存です。

そして、『Well-beingなまちづくり』の推進にあたり、『地域共生社会』の実現にもつながる『認めあい・支えあい・活かしあい』理念を再確認しながら人口減少の抑制に注力して、これからも『一歩先を行く選ばれる先進のまち』を目指してまいります。

結びに、本町の限らない発展と皆様のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。今年も宜しくお願い申し上げます。

り重要であると確信しております。

今年の干支は辰であり、十二支の中では唯一空想の生き物で、権力や隆盛の象徴に例えられております。

辰(竜、龍)の如く、議会も飛躍を遂げる年となるのが町民に求められております。

「竜の水を得るが如し」の執行部に対し、「竜の鬚を蟻が狙う」の決意をもってしっかりと改革を進めてまいります。

結びに、今年一年の皆様のご多幸ご健勝を心からご祈念申し上げますとともに、町民の皆様「逆鱗に触れる」ことの無い信頼される議会となるよう覚悟をもって取り組むこととお誓い申し上げます、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

今年、限られた予算の中でも視察等に依存することなく、自発的に議会内での研修の機会を増やしていくことで、会派の壁を越えて町民本位の議会へと進化していくことが何よ

# 町長・町議会議長



町民に寄り添う議会を目指して

大河原町議会議長 岡崎 隆

